

ヌカカ類

ヌカカ類					成虫				発生時期			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	

ヒトや動物から吸血*する

飛翔昆虫です。体が非常に小さいため、衣服の中に

潜り込んでしまうことがあります。「糠のように小さ

な蚊」という意味で、ヌカカと呼ばれています。



写真(右)は、ニワトリヌカカ成虫です。体長は約1.3~1.8mmです。翅に

独特の模様があります(種類により模様が異なります。)

*:雌成虫のみが吸血します。

生態

成虫の活動は春から秋です。ニワトリヌカカは平野に、イソヌカカは汽水域

周辺に生活しています。また、森林には、シナヌカカが生息し、ヒトに対し

て激しく吸血被害を与えることが知られています。

幼虫は、水中(水田(ニワトリヌカカ)、海岸の水たまり水を含んだ泥(イ

ソヌカカ)など)で生活していますが、まだ発生源が不明な種類もいます。

被害

成虫は、ヒトや鶏、家畜などに吸血被害を与えます。場合によっては、

アレルギー^{はんのう}反応^ひを引きおこします。腫れ^はがひどい場合は、医療機関^{ばあい}を受診^{いりょうきかん}しましょう。^{じゆしん}

小さい^{ちい}ので、網戸^{あみど}からも侵入^{しんにゆう}することができるので、室内^{しつない}で吸血被害^{きゆうけつひがい}を受けることがあります。日常生活^{にちじょうせいかつじょう}上では、ニワトリヌカカ、イソヌカカの被害^{ひがい}がほとんどです。

防除^{ぼうじょ}・駆除^{くじょ}方法^{ほうほう}

- 野外活動^{やがいかつどう}をおこなう時は、皮膚^ひの露出^{ろしゆつ}が少ない服装^{ふくそう}にしましょう。
- 灯り^{あか}に誘引^{ゆういん}されるので、窓ガラス^{まど}などからの光^{ひかり}の漏れ^もをなくしましょう。
- 網戸^{しんにゆうぐち}、窓ガラス^{がいちゆうようき}などの侵入^{ひざい}口に害虫用忌避剤^{とふ}を塗布する。
- 室内^{しつない}に侵入^{しんにゆう}した場合は、市販^{ばあい}されている家庭用殺虫剤^{しはん}を使用^{かていようさつちゆうざい}しましょう。^{しやう}

にわとり ^{かちく} 鶏、家畜とヌカカ

にわとり 鶏にはロイコチトゾーン病^{びやう}、牛^{うし}に対しては様々なウイルス病^{びやう}を感染^{かんせん}させることが知られています。^し



さんこうとしよ <参考図書>

1. 加納六郎、篠永哲 著 : 日本の有害節足動物 東海大学出版社 (1997)
2. 日本家屋害虫学会編 : 家屋害虫辞典 井上書院 (1995)
3. 梅谷献二 : 原色図鑑 野外の毒虫と不快な害虫 全国農村教育協会 (1994)
4. 山梨県福祉保健部衛生薬務課 衛生公害研究所 : 日常生活と周辺の虫たち (2001)